

2013年BSサミット事業協同組合 新年賀詞交歓会 開催

変化の激しい時代を勝ち抜くために

2013年1月16日(水)、ANA インターコンチネンタル東京において2013年BSサミット事業協同組合新年賀詞交歓会を開催いたしました。

増田副理事長の開催宣言につづいて登壇した磯部理事長の挨拶では4年ぶりに500万台を上回る結果となった2012年の新車の販売動向からの分析としてハイブリットや軽自動車が増えたことに触れ、パワートレインや車体構造の変化からますます車体整備が難しくなっていく状況の説明がありました。

また、自民党政権に戻って経済の復調の兆しが見える一方で、ノンフリート等級別自動車保険料率の改定など、先行きが不透明であり、BSサミットの組織の代表として強いリーダーシップを発揮して変化を乗り切っていくにはいけないという決意の表明もありました。最後に、磯部理事長は変化の時期だからこそ守りの姿勢ではなく、慎重に且つ大胆に組織の改革を進めていくという力強い言葉で挨拶を締め、大きな拍手が起こりました。

その後提携損害保険会社の代表者の挨拶に続き、協賛会社の紹介が行われ、第一部は盛会裏に終わりました。



懇親会において中川先生のご挨拶



乾杯の御発声は国土交通省自動車局整備課課長補佐(総括)多田様



約390名が参加し、盛大に開催された



磯部理事長の挨拶

第二部の懇親会では開会挨拶において、黒木専務理事は、ダイハツ新型ムーヴに自動ブレーキが搭載されたことに触れ、遂に軽自動車にもぶつからないクルマが出現した事等から今後、車体整備にも影響が出てくるという予測のもと、「将来のことだろう」と環境変化に鈍感でいると「ゆでカエル」になってしまう可能性があり、我々を取り巻く周辺環境の変化には機敏に対応していこう、という挨拶がなされました。

自民党の元衆議院議員、自動車議連最高顧問の中川秀直先生、参議院議員の佐藤ゆかり先生にもご参加いただき、国土交通省自動車局整備課課長補佐(総括)多田善隆様の乾杯の御発声とともに、盛大な懇親会となりました。

例年以上に多くの方に参加いただいた懇親会では、冒頭の挨拶で中川先生がBSサミットの顧問にも就任いただけるという発表もあり、石井副理事長の締めの挨拶まで非常に活気あふれる情報交換が行われました。



和やかな雰囲気での懇親会